

第 82 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 27 年 6 月 18 日(木)、19 日(金)

東北大学工学研究科 青葉記念館（第 20 回 動力・エネルギー技術シンポジウム展示会場）

2. 来訪者： 30 名程度

3. 説明概要：

第 20 回 動力・エネルギー技術シンポジウム展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布し、ITER 計画について説明及び ITER 機構職員募集を行った。

（ITER プロジェクト部 中嶋、ITER 計画管理グループ 齋藤）

4. 主な Q&A

Q：ITER サイトはどこにありますか？

A：ITER の建設サイトは、国際的な観光地としてよく知られた南仏プロバンス地方にあります。サンポール・デ・デュランスという市に有り、フランス原子力庁カダラッシュ研究センターに隣接しています。

最寄りの国際空港はマルセイユ空港となります。マルセイユからカダラッシュまでは 70km ほどあり、車で約 1 時間かかります。

Q：ITER 機構と那珂核融合研究所の関係を教えてください。

A：ITER 機構は、所謂 ITER 協定という国際条約により設立された国際機関です。ITER 協定は、日欧米露中韓印の 7 つの極が加盟しています。ITER 機構は ITER 建設、運転を行うための実施主体として設立されました。ITER 協定の加盟国は、それぞれ分担する ITER の機器を、それぞれの国内機関を通じて物納することになっています。日本政府は、ITER 協定の発効時に、原子力機構を我が国の国内機関に指定しました。原子力機構は、我が国が分担する物納機器を調達すると共に、日本における公募の窓口として、ITER 機構による職員公募の事務手続きを支援しています。

Q：ITER 機構では、何人くらい日本人が働いていますか？

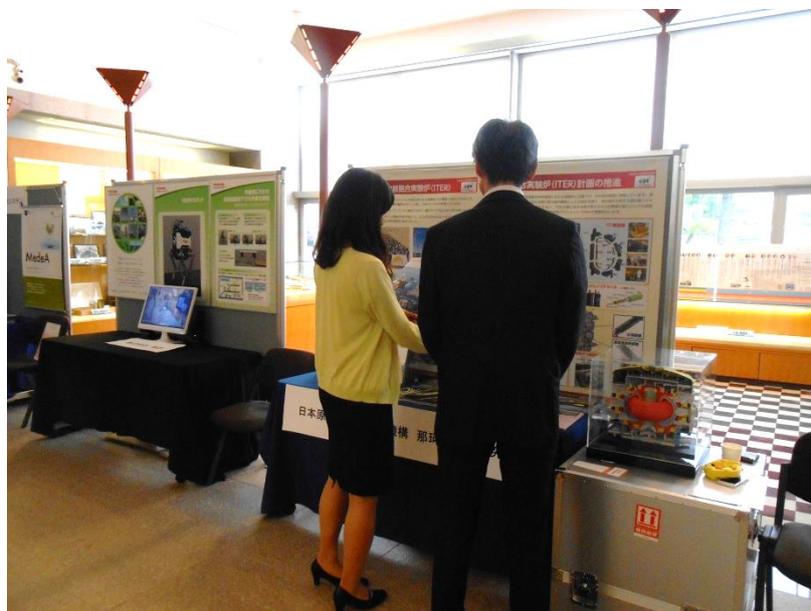
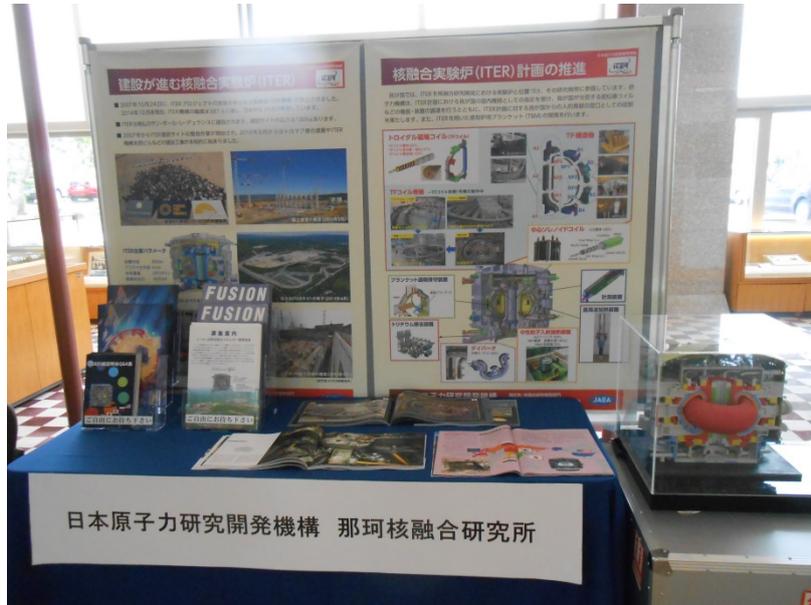
A：日本人は、専門職員（経験のある技術者・研究者）20 人、支援職員（秘書、CAD オペレーター等）6 人の計 26 人が働いています。（2015 年 5 月末）

Q：ITER サイトの建設状況はどのようになっていますか？

A：2012 年に PF コイル巻線棟、2014 年にはクライオスタット作業場、及び本部ビルが完成しました。現在は、トカマク複合建屋や組立建屋の基礎工事が進められています。

（右写真）





展示ブースの様子